

第5章 計画の数値目標

1 数値目標の設定

本計画の進捗状況を把握するため、基本指針ごとに次の数値目標を設定します。目標年度は計画の最終年度である平成 31 年度です。

しかし、地域福祉活動の推進状況は一律に数値ではかれるものではなく、また、“数値目標の達成”だけが目的になることは避けなければなりません。大切なことは、日々の暮らしの中で、助け合いの活動が活発になり、地域で交流や活動の機会が広がっていくことであるため、これらの数値目標は、あくまで進捗状況の目安として定めるものです。

(1) 基本指針 1 「地域福祉活動に取り組む人づくり」の数値目標

項目	データ	数値	
		現状値	目標値
地域活動やボランティア活動をする市民の増加			
市民活動センター登録団体数の増加	関市市民活動センターに登録している健康・福祉関連で活動する団体数	143 団体 (H26 年度)	200 団体
	【目標設定の考え方】 年間 10 団体、5 年間で約 50 団体の増加をめざします。		
ボランティアセンター登録団体数の増加	関市ボランティアセンターに登録している団体数	123 団体 (H26 年度)	150 団体
	【目標設定の考え方】 年間 5 団体、5 年間で約 25 団体の増加をめざします。		
NPO 法人の数	関市内に拠点を置く NPO 法人の数	33 法人 (H26 年度)	38 法人
	【目標設定の考え方】 年間 1 法人、5 年間で 5 法人の増加をめざします。		
認知症を支える人の増加	市が実施する認知症養成講座を受講し、認知症サポーターとなった市民等の人数	2,626 人 (H26 年度)	5,500 人
	【目標設定の考え方】 5 年間で、高齢者の見守り協定を結んでいる企業の社員 500 人、高校生及び大学生 500 人、その他の市民 2,000 人程度の受講者数の増加をめざします。		

(2) 基本指針2「地域の交流・支え合いの活性化」の数値目標

項目	データ	数値	
		現状値	目標値
身近な地域の交流の場の増加	「ふれあい・いきいきサロン」「子育てサロン」「障がい者サロン」の設置か所数	100 か所 10 か所 1 か所 (H26年度)	120 か所 16 か所 5 か所
	【目標設定の考え方】 ・「ふれあい・いきいきサロン」 高齢者が歩いて参加できる集いの場所づくりを目的に、未実施地域の開拓を含め、年間4か所の新規サロンの開設をめざします。 ・「子育てサロン」 すべての支部社協での開催をめざします。 ・「障がい者サロン」 関本部地域で3か所、西地域、東地域で1か所ずつの設置をめざします。		
「小地域住民地域福祉活動計画」策定地域の増加	支部社協ごとに作成する「小地域住民地域福祉活動計画」を策定している地域数	5 地域 (H26年度)	16 地域
	【目標設定の考え方】 すべての支部社協での計画策定をめざします。		
災害時に支援してもらえる人がいる避難行動要支援者の増加	「関市避難行動要支援者名簿」に登録し、個別避難計画を作成している人の人数	2,750 人 (H26年度)	5,000 人
	【目標設定の考え方】 年間1,000人、5年間で5,000人の個別避難計画作成をめざします。		

(3) 基本指針3「福祉サービスの充実」の数値目標

項目	データ	数値	
		現状値	目標値
生活困窮者の支援数の増加	生活困窮者に対する自立支援計画の作成件数	—	300 件
	【目標設定の考え方】 年間60件、5年間で300件の自立相談支援計画作成をめざします。		
地域ケア会議の開催回数	地域包括支援センターが中心となって開催する多職種連携のための地域ケア会議を開催した回数	137 回	170 回
	【目標設定の考え方】 個別ケース会議60回、定例会議100回、地域連絡体制会議10回の開催をめざします。		

(4) 基本指針4「団体活動の活性化」の数値目標

項目	データ	数値	
		現状値	目標値
自治会加入率の上昇	自治会加入世帯／世帯数	71.5% (H26年度)	75.0%
	【目標設定の考え方】 過去10年間で最も高い加入率（平成20年度75.0%）をめざします。		
地域委員会設置数の増加	概ね小学校区単位で設置する地域委員会の数	5委員会 (H26年度)	15委員会
	【目標設定の考え方】 市内すべての小学校区での設置をめざします。		